

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



## 第9回学術大会を終えて

大会長 板東 浩 (四国支部長)

第9回日本音楽療法学会学術大会が2009年9月11日の講習会に続いて、12日、13日と松山市のひめぎんホール（県民文化会館）で開催されました。四国支部が主催する初めての大会であるため参加人数を案じておりましたが、蓋を開けると1,100、3,050、1,450名と、3日間延べ5,600人強のご参加をいただきました。大会はスムーズに進行し、大会長として感激や安堵の気持ちとともに、関係者各位に心より厚く御礼申し上げます。

今大会のテーマは「音楽療法の源流を求めて～音のゆらぎ、心のゆらぎ～」。著名な作曲家である池辺晋一郎先生の特別講演「人は生きている 音も生きている」、日野原重明理事長の基調講演「音楽の持つスピリチュアリティ」は、いずれも私たちの心を揺さぶり動かすものでした。後者は市民対象の公開講座でもあり、葉書で応募した多数の人々が四国四県や中国地区からも参集して、3,000人の会場が一杯に。まさに歴史的なレクチャーとなり、私も大会長講演「音のゆらぎ、心のゆらぎ」で務めを果たすことができました。

このたびの大会には、従来にはみられない特徴的な点がありましたので、いくつか列挙させていただきます。

①講習会：初日の講習会では、例年のように多数の希望者で定員が一杯となりました。充実したレクチャー20枠に含まれていたのが、興味深いトピックスの数々。サイエンスとアートが不可欠の音楽療法で、皆さまの感性がきつと心地よく刺激されたことでしょう。

②開会式：開会式は予想しない展開でした。幕開と同時に、日本の伝統芸能である「能」舞台かと思われるような、優美で幽玄の世界が広がることに。締太鼓と電子オルガンによる一調「～松山の残像2009～」の作曲は稲浦調大会事務局長が、日本古来の締太鼓は金春流太鼓奏者の藤井澄子大会実行委員長が力強いバチさばきで、電子オルガンは平田聖子氏がコンテポラリーな和音を展開させていました。このようなオーブニングは、本当にサプライズですね。

③ワークショップ：4個の枠を担当されたのは、生野里花、

加藤美知子、二俣泉、前田キヨ子の先生方でした。いずれも興味深く個性溢れるものであり、参加者は充実したひとときを過ごされたことと思います。

④ポスター発表：例年に比べてスペースに余裕があり、多数のポスターが採択されました。会場では誰もが自由討論で熱く語り合い、会員相互の交流が深まったことでしょう。ここで得られたネットワークの今後の展開が望めます。また、ずっしりと重い抄録集にはバラエティに富む経験が凝集されており、有効に活用してください。

⑤懇親会：400名の申し込みがあった懇親会では、愛媛から正調・野球拳が、徳島から本場の阿波踊りが披露され、圧巻でした。鉦や笛、太鼓、三味線が鳴りだし、踊り子が会場に入って来ると、たちどころに参加者が2重、3重の踊りの渦に。プロの阿波踊り連から、「こんなにリズム感とノリが素晴らしく、盛り上がったことはない」「これほどお役にたって嬉しい限りだ」と絶賛されました。参加者からも「初めてナマで阿波踊りを見ることができ感激！踊った！」と多くの声。誰もが音楽+運動療法の真髄を体験でき、思う存分お楽しみ頂けたものと思います。

本大会が成功裏のうちに終了できたのは、何といても2年間にわたる藤井・稲浦両氏によるご尽力と四国支部が丸となり皆様をお迎えできたことによるものと云えましょう。また、越智本部事務局長や関係者の方々にも大変お世話になり、ここに紙面をお借りして感謝申し上げます。

なお、私は開会式で述べました。「おそらく本大会は印象的で、感銘深いものとなるでしょう。印象 (impression) とは、中に (in) + 圧迫 (press) + すること (ion)。あなたの心の中に烙印を押すごとく、映像や音楽が残像や残響となり、きっと一生涯、記憶に留まると期待しております」と。

大会の幕が閉じましたが、これは終わりではありません。逆に、出発と云えます。日本の社会や医療が変革している今、音楽療法号は松山港から神戸港に向けて出航します。

ボン・ボヤージュ！ ありがとうございます。



## 第10回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 益子 務

素晴らしい松山での大会が終わったのが、つい先日のように思える今日この頃ですが、来年の第10回大会のお知らせをする時期になりました。

10回目という区切りとなる学術大会は、2010年の9月24、25、26日の3日間、神戸国際会議場とポートピアホテルにおいて開催することになり、近畿支部が総力で準備を進めています。

大会テーマは「いのちに寄り添い、ところをつなぐ～音楽療法の原点と課題～」という事に決定いたしました。国家資格の実現を正面に掲げ、自治体として音楽療法を導入している兵庫県と共催する企画もあります。また、10回を記念して学術大会としての内容の充実を考え、自由研究発表に加えて課題研究発表の公募も考えています。

国家資格実現の立場から福祉の先進国であるヨーロッパから学ぶため、ドイツ、ベルギー、チェコ、スウェーデンの各国から4名のパネリストを迎えてパネル・ディスカッションを企画しています。パネラーとなる各ゲストは講習会の講師もしていただく予定にしています。

基調講演としてはパネラーの一人でもあり「音楽療法事典」の著者でもあります、ハンブルグ国立音楽大学のハンス＝ヘルムート・デッカー＝フォイクト教授の講演を予定していま

す。教授の音楽療法に対する哲学的な講演は、我々にとって貴重な示唆を与えるものと期待しています。

また、大会長講演として、1850年前後に奴隷制度の厳しいアメリカ南部から北部の自由州へ逃亡する奴隷たちを扱ったドラマ「地下鉄道」と、逃亡奴隷への暗号としての役割を担っていた「ゴスペル」の演奏を絡み合わせた音楽劇を作りたいと考えています。人間性と命をテーマとしたドラマとその根底を流れる「音楽」としてのゴスペル、またあまり知られていない「暗号」としてのゴスペルをお楽しみください。

この大会の企画・運営を担う近畿支部の皆様をはじめ全国の会員の皆様には是非お力添えをお願いいたします。

六甲の緑と海の青、グルメという神戸の街で、音楽療法の将来を考えると同時に、心のハビリテーションを行ってみるのはいかがでしょうか。

第10回日本音楽療法学会学術大会

会 場：神戸国際会議場・神戸ポートピアホテル

大会日時：2010年9月24日、25日、26日

大会テーマ：「いのちに寄り添い、ところをつなぐ

～音楽療法の原点と課題～」

## ■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 加藤 美知子

一昨年度、昨年度と2年続けて、本学会の全国講習会は主に基礎の段階に焦点を当ててプログラムを組んでまいりました。そこで、来年3月に開催される講習会では、ベテランの方にとっても最新の情報を学ぶ機会となるような企画を立てました。2007年11月に、日本赤ちゃん学会の招聘で来日され、当学会のために特別講演をされたフロリダ州立大学のジェイン・スタンリー教授を、あらためてお迎えします。教授はアメリカの音楽療法の臨床、教育、研究において多くの実績を積んでこられ、特に、未熟児のための音楽療法が専門領域です。本年2月にメディカ出版から『未熟児の音楽療法 エビデンスに基づいた発達促進のためのアプローチ』がDVDつきで発行されました。今回は、最新の音楽療法の実践および研究についてじっくりとお話していただけます。また、スタンリー教授のもとで博士課程に在籍する井上聡子氏がプログラムの一部を担当し、日本からは和田玲子氏が日本における乳児対象の臨床を紹介いたします。

二日目の午後には、児童および高齢者の領域からそれぞれの演者の経験に基づいた実践の紹介、音楽療法の方法についてお話していただけます。自分の実践を整理する上で貴重なヒントが得られることと思います。多くの会員の方々のご参加をお待ちしております。

2010年	内 容	講師・司会
3月6日(土) 12:00	受付開始	
13:00~13:10	開会挨拶 ガイダンス	委員長：加藤 美知子 学会事務局長
13:15~15:00	医療領域における音楽療法 －最新の臨床現場より－	ジェイン・スタンリー (フロリダ州立大学)
15:15~16:30	医療領域における音楽療法 －リサーチについて－	ジェイン・スタンリー 井上 聡子 (フロリダ州立大学)
16:30~17:00	質疑応答	
3月7日(日) 9:00	受付開始	
9:20~9:25	ガイダンス	学会事務局長
9:30~12:00	刺激としての音楽、療法としての音楽の使い方 －日米の事例を交えて－	ジェイン・スタンリー 井上 聡子 (フロリダ州立大学) 和田 玲子 (平成音楽大学)
13:15~14:35	事例紹介 －児童領域より：重度重複障害児－	鈴木 千恵子 (玉川大学)
14:45~16:05	地域における認知症予防のための音楽療法の一例	伊志嶺 理沙 (音楽療法自主グループ「アリア」)
16:10~16:35	総括	

\*会場は、例年通り東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館です。詳細は、後日お手元に届く案内をご参照ください。なお、講師の都合により変更が生じることがあります。その際は悪しからずご了承ください。

## 北海道支部 — 近況 —

支部長 久村 正也

全国の会員の皆様、こんにちは。北海道支部の近況を報告いたします。

当支部は設立7年目、会員数200余のミニ集団ですが、会員の活発な活動が誇りです。

支部主催の研修会は年2回開催され、いずれも一般講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどを巧みに組み合わせた密度の濃い内容であると自負しております。特筆すべきは、音楽療法士に必要な医学知識・臨床心理学を学ぶ「医学ミニレクチュア講座」を設けていることです。この講座は会員の好評を博しておりますが、去る5月の研修会では、あまりにも演題申し込み数が多く時間のヤリクリがつかずに、例外処置として休講せざるを得なくなり、今後の運営時間の工夫が課題として残りました。

今年度は5月24日に支部総会を開催し、前年度・今年度の運営状況、事業予定などの承認を頂き、役員一同、心を新たに支部運営活動に邁進しているところであります。

第16回研修会は10月18日に開催の予定です。支部ニューズレターの発行も順調で、現在16号に達しました。

また、支部ホームページへのアクセス数も増加しており、この領域における多くの方々の高い関心が見てとれます。

「音楽療法を支援する会」が発足しましたが、私ども北海道支部会員は、国資化問題推進の大きな支えになるものと、心から期待しております。

今後とも北海道支部を宜しくお願い致します。



## 東北支部 — 近況 —

事務局長 渡邊 恵里

2009年6月27、28日、遠山文吉氏（基調講演講師）羽石英里氏、根岸由香氏（講習会講師）を迎え、宮城県仙台市にて支部学術大会を開催しました。宮城の会員を中心とした運営委員の尽力が功を奏し、他支部からの参加も含め近年では最多の100超の参加者でした。来年度は秋田県での開催が決定しておりますが、地元会員が少なく、役員総出で運営を行う予定です。他に、役員が中心に取り組んでいる規約改正の問題や講習会申請のあり方などについての意見が、会員との間で活発に取り交わされていて、非常に喜ばしい状況だと思います。今後とも東北支部をよろしくお願い致します。



## 関東支部 — 近況 —

事務局長 加藤美知子

第8回関東支部講習会・地方大会が、本年12月5・6日に、埼玉県川越市の東邦音楽大学川越キャンパスにおいて開催されます。音楽療法の対象者をあたたかく「観る心」、対象者にさりげなく「よりそう心」はどのようにして生まれるのか、という思いから大会テーマの「観る心・よりそう心」が生まれました。このテーマに沿ったシンポジウム、特別講演（「子どもの言語発達と音楽の関係について」 京都大学霊長類研究所 正高信男先生）、音楽療法の学生および卒業したばかりの新人音楽療法士による「ひよこ」フォーラムなど、充実したプログラムが企画されています。ネットでの受付は10月30日をもって終了する予定ですが、当日受付があります。関東支部以外からの参加も多数お待ちしております。ホームページ上で是非詳細をごらんになってください。



## 信越・北陸支部 — 近況 —

支部長 海老原直邦

信越・北陸支部第7回学術大会が2009年5月30日(土)～31日(日)に、宮本啓子氏(学会常任理事)を大会長として、石川県加賀市のアビオシティホールにて開催されました。初日30日には、支部総会を行った後、オープニング・セレモニーとして、知的障害児入所施設「石川県立錦城学園」の太鼓クラブの皆さんが元気のよい和太鼓合奏を披露し、拍手喝采を浴びました。次に公開講演として、米国に留学経験のある阿比留睦美氏(元・美原記念病院音楽療法士)が「神経学的音楽療法—臨床と研究実証」と題して講演、次いで、宮本啓子氏(日本ミュージック・ケア協会会長)が「心と身体を響かせる—音楽は道先案内」と題して講演しました。

翌31日午前中には、事例検討会が行われ、丸山敬子氏(新潟医療福祉大学講師)と宮川深雪氏(社会福祉法人「光道園」障害者支援施設課長)が座長となり、栗林文雄氏(名古屋音楽大学教授)、宮本啓子氏、前田登志枝氏(長野医療衛生専門学校教務主任)、海老原直邦(富山大学教授)をコメンテーターとして6題の事例研究発表が行われました。午後は、ワークショップ「伝統芸能山中節をめぐって」を行った後、栗林文雄氏による「音楽療法の基本的理解：三次元説」と題した講演が行われました。支部会員および一般参加を合わせて、2日間で約100名の参加者がありました。

今回の支部第8回学術大会は、西巻靖和氏を大会長として、2010年6月5日(土)～6日(日)に、長野市(長野駅前ホテルサンルート)において開催予定です。

なお、上記、支部総会において、本年4月1日付けで本学会理事長より開催依頼のあった第11回学術大会(全国大会)を信越・北陸支部にて主催し、2011年9月9日(金)～11日(日)の期間に、富山市において開催することが承認されました。



## 東海支部 — 近況 —

支部長 都築 裕治

1. 支部役員選挙：この10月は東海支部の役員選挙期間となっており、郵送による投票が準備されているところです。投票は10月31日に締め切れ、12月には新役員(20名の予定)が決定される見通しです(任期：2010/04～2012/03)。
2. 支部大会：2010年04月11日(日)に支部大会を開催します。東海支部では支部大会を各県持ち回りとしており、今回は静岡で行うべく準備をしております。  
期 日：2010年4月11日(日)  
場 所：グランシップ静岡(JR 東静岡)  
内容(予定)：講演、公開実践検討会、研究・実践発表  
この大会(支部総会)にて新役員体制に移行します。
3. 支部紀要：東海支部では、隔年で支部紀要を発行することとしました。上記の支部大会にて第2号をお届けできるよう、担当委員会にて準備中です。
4. 学生・音楽療法士(補)への援助：音楽療法の学習を継続して行くことや実践現場の確保に苦勞されている学生・音楽療法士(補)の方々に、支部として何らかの援助ができないものかということが、支部役員会で毎回話題にのぼっています。具体的に何をどのようにしたらいいのかは模索中です。



## 近畿支部 — 近況 —

支部三役会

2010年9月24～26日に神戸で開催されます第10回日本音楽療法学会学術大会の準備を進めています。大会テーマは「いのちに寄り添い、ところをつなぐ～音楽療法の原点と課題～」です。国家資格化の実現を目標に掲げ、震災復興に音楽療法を導入している兵庫県との共催など第10回の記念大会に相応しい企画を考案中です。また、自由研究発表に加えて課題研究テーマに基づく研究発表を公募する予定です。多数の会員の皆様のお越しをお待ちしています。

支部の総力を挙げて全国大会の準備をしていますので、今年度の近畿学術大会は開催せず、講習会のみ行うことになっています。講習会は2010年3月27日(土)に和歌山大学にて開催されます。詳細は近日中に近畿支部ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。(近畿支部ホームページ <http://www.jmtak.com>)

近畿支部では2002年より『近畿音楽療法学会誌』を毎年発行し、2006年からは近畿支部会員全員に配布しています。原著論文や事例研究のほかに近畿学術大会における講演や講習内容、また支部活動記録などを掲載した学会誌で、今年度も12月に発行予定です。購読をご希望の方は近畿支部事務局(jmtak@guitar.ocn.ne.jp)までお問い合わせください。

## 中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、去る5月30、31日の両日、広島文教女子大学において、第9回中国支部大会および第14回支部講習会を開催いたしました。基調講演に柏木哲夫先生をお迎えし、「ケアの本質」と題してご講演いただきました。緩和ケアの第一人者でいらっしゃる先生のご講演から、緩和ケアの領域だけにとどまらず、いろいろな領域で活動する音楽療法士として、自分のあり方を見つめ直すよい機会を頂きました。また今回は、松原秀樹先生をコーディネーターに、柏木哲夫先生と蛭江紀雄先生の対談も実現し、「人生の質の保障をめざして～一人一人の生を尊重する援助～」というお話を拝聴しました。また、新しい試みとして、実践研究に対するスーパービジョンの過程を公開するという企画発表も設けました。講習会では、蛭江紀雄先生に「福祉の援助観」、伊藤孝子先生に「子どもを対象とした音楽療法における音・音楽の使い方」、甲谷至先生に「歌うことが口腔ケアになる」というテーマでお話を頂きました。

開催に際しましてご協力を頂きました関係各位に御礼申し上げます。

第15回支部講習会は、11月8日(日)、山口県周南市 周南文化会館にて開催します。後藤力先生に理学療法、藤原大輝先生に心理療法概論、三輪宣彦先生にオルフ音楽教育についてご講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

ニューズレター19号は10月に発行予定です。

支部ホームページもどうぞごらんください。



## 四国支部 — 近況 —

事務局長 三崎めぐみ

今年も秋祭りの季節になり、裏の神社からも鐘と太鼓の音が聞こえてきます。ここ四国支部も8年に一度の大祭り、第9回日本音楽療法学会学術大会が松山で開催されました。神輿の上で阿波踊りしたのは板東浩、神輿をかついでたのは前が藤井澄子、後ろは稲浦調、あとのメンバーもみんなでささえて9月11日を迎えました。心配した台風、インフルエンザの影響も受けず、3日間のはべ6千人で賑わい、特に日野原理事長の基調講演は、3千人の観客で満席。遠くから海をわたって来てくださった皆様、ありがとうございます。四国内の皆様もありがとうございます。お越しくくださった方々のことは忘れません。来年またお会いしましょう、神戸で。



## 九州・沖縄支部 — 近況 —

支部広報役員 池田 憲治

2009年7月5日(日曜日)熊本の『崇城大学市民ホール』にて、若尾裕先生をお招きし九州・沖縄支部講習会が開催されました。若尾先生自身今回のテーマである『音楽学と音楽療法』について、音楽療法関係者へお話をするのは始めてという事でした。参加された皆様も新鮮な内容であったのではないのでしょうか。

開始前に若尾先生のピアノ演奏で包まれた会場は、心地よく穏やかな雰囲気でした。講習会が開始されると、聞く側にもレベルが要求されるような内容でしたが、参加者は真剣な眼差しで聴き入っていました。その姿に、今後の音楽療法への期待感を感じることが出来ました。

講習会終了後、「また、若尾先生を講師に招いて第2弾を計画してほしい。」とたくさんの声を聞くことが出来ました。支部の教育担当の齋藤考由先生からも「ぜひ、この続きを。」との話がありましたので、期待したいと思います。

※発行日の関係で文中各支部近況の日にちが終了しているものがありますのでご了承下さい。

## ■ 2008年度音楽療法士（補）試験追加合格者について ■

資格認定委員会

2009年1月18日に実施しました第8回学会音楽療法士（補）試験において採点ミスがありました。謹んでお詫び申し上げます。また受験者全員の回答を精査しました結果、次の方が追加合格となりましたのでお知らせいたします。

益田 祥子（大阪府）

———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ———— ☆ ————

### 学会事務局からのお知らせ

#### ■ 第3回評議員選挙について

第3回日本音楽療法学会評議員選挙の投票用紙を有権者の方にお送りしております。すでに投票を済まされた方も多くあると思いますが、まだ済まされていない方は11月10日（火）投票締め切り（必着）となっておりますので、投票上の注意事項に従いまして期日までに必ず投票されますようお願いいたします。

#### ■ 2009年度資格審査を申請された方へ

2009年10月15日までに提出された申請書につきまして現在審査中です。審査結果は11月末日までに通知されます。書類審査合格者は面接試験（実技を含む15分間、12月12日（土）・12月13日（日）または面接試験受験者多数のときは12月19日（土）・12月20日（日）のいずれか1日、日時は審査結果通知の際にお知らせします）が東京にて実施されます。なお、面接日時の変更はできませんのでご承知おきください。

最終審査結果は2010年2月初旬に通知されます。

#### ■ 2009年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2009年10月30日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2010年2月初旬に通知されます。

#### ■ 「資格認定規則（申請書）」および「資格更新規則（申請書）」の取り寄せについて

500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則請求」または「更新規則請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

※「音楽療法士認定規則」の配布は会員限定ですので、非会員の方は入会手続き完了後の取り寄せとなります。

※資格更新の該当の方には当該年度の5月上旬までに、更新規則を全員に事務局から送付しますので取り寄せは不要ですが、早くご入用の方は上記方法でお取り寄せください。

#### ■ 「カリキュラムガイドライン01」の取り寄せについて

「カリキュラムガイドライン01請求」として学会事務局へお申し込みください。

#### ■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

## ■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」の取り寄せについて

---

2001年度から2008年度まで過去8回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が、年度別にそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分の音楽療法士（補）試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版も発行されています。合冊版は1冊で2,000円です。（3,000円から2,000円へ頒布価格を改定しました。）

購入を希望される方は、希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、返信用封筒は不要です。

## ■ 学会誌バックナンバーのご購入について

---

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社  
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

## ■ 会費（年会費）納入のお願い

---

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2008年度分未納の方はこのまま放置されますと2010年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円  
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口  
振込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会  
○口座番号：00120-9-657711

## ■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

---

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

## ■ 「団体総合補償保険」のご案内

---

昨年からはじめました音楽療法士の業務保険を同封パンフレットのとおりにご案内いたします。加入ご希望の方は同封してあるFAX用紙にて資料請求をして下さい。その上で手続きをすることとなります。この保険についての対応は学会事務局ではできませんので、ご質問などはパンフレット記載のお問い合わせ先に直接お願いいたします。

## ■ 「投稿規定」が改定されました。

---

詳細はホームページをご覧ください。